

目 次

		ページ
SKYLIGHT 〈今月の焦点〉	VLBIの10年—地球科学への貢献	真鍋盛二 152
EUREKA 〈研究紹介〉	自己重力多体系の進化に対する粗視化の効果	土屋俊夫 158
天球儀 〈読物〉	韓国の天文学—最近の事情	趙世衡 162
シリーズ	《ハイテクとおめがね事情(4)》 野辺山電波ヘリオグラフ —太陽フレアの謎に迫る電波の目—	西尾正則 171
書評	ボルツマン先生, 黄金郷を旅す	173
雑報	研究会報告 —Scientific and Engineering Frontiers for 8-10m Telescopes— 今, 天文で何を教えるべきか —天文教育フォーラム報告—	家正則 174 奥田亨 175
	日本学術会議だより No. 35	178
月報だより		180

表紙説明

設置完了した1.8m反射望遠鏡のドーム及び建設中の研究棟を含む慶北永川の普賢山(海拔1127m)の頂上。

1.8m望遠鏡の初期段階での観測機器としてはCCDカメラ, 中分散分光器, スペックルカメラなどが計画されている。(天球儀参照)

(表紙デザイン 藤居保子)